

平成30年度

事業報告書

平成30年4月1日から

平成31年3月31日まで

公益財団法人宮城県水産振興協会

I 組織の状況

1 主な活動事項

年 月 日	事 項	場 所 等
平成30年 4月 9日 ～4月13日	アワビ第2回目の採卵・採苗	協会内
平成30年 4月24日	全国豊かな海づくり大会第2回 準備委員会	宮城県庁内
平成30年 5月14日	漁業経営安定対策本部役員会・ 通常総会	宮城県水産会館
平成30年 5月21日 ～10月23日	アワビ種苗第2回剥離（選別・ 出荷）	協会内
平成30年 5月22日	平成29年度決算監事監査	協会内
平成30年 5月24日	ホシガレイ種苗搬入(宮古)	東北区水産研究所沿岸 漁業資源研究センター
平成30年 5月25日 ～10月29日	アワビ稚貝引渡し（出荷）	協会内
平成30年 5月30日	第19回定時理事会	パレス松洲
平成30年 6月 1日	みやぎ漁師カレッジ開講式	女川町まちなか交流館
平成30年 6月15日	第7回評議員会	パレス松洲
平成30年 6月16日 ～6月17日	藻場調査等実習会	東京海洋大学館山ST
平成30年 6月21日 ～6月25日	アワビ第3回目の採卵・採苗	協会内
平成30年 6月29日	宮城県漁業協同組合総代会	石巻市ビッグバン
平成30年 6月29日	役員変更登記申請	仙台法務局
平成30年 7月 4日	ヒラメ種苗搬入	秋田県栽培漁業協会
平成30年 7月 7日	漁業就業支援フェア2018	秋葉原アキバスクエア
平成30年 7月10日	全国豊かな海づくり大会第3回 準備委員会	宮城県庁内
平成30年 7月10日	仙台広告賞表彰式	仙台国際ホテル
平成30年 7月 5日 // 7月13日	ホシガレイ稚魚放流	県内7ヶ所に放流
平成30年 7月11日 // 7月18日	ヒラメ種苗搬入	岩手県栽培漁業協会

平成30年 7月20日	宮城県産地魚市場協会総会 水産物流通対策協議会通常総会	仙台ガーデンパレス
平成30年 7月27日	松島湾浅海漁業振興協議会総会	グランドパレス塩釜
平成30年 7月31日	平成30年度宮城県さけます増 殖協会理事会・通常総会	パレス松洲
平成30年 8月 1日	ヒラメ稚魚放流	北部地区4箇所
平成30年 8月 6日 ～8月10日	第1回漁業就業者確保育成事業 短期研修	水産技術総合センター
平成30年 8月 8日	青年部女性部発表大会	石巻ビッグバン
平成30年 8月22日	ヒラメ稚魚放流	中部地区3箇所
平成30年 8月21日 " 8月24日	ヒラメ稚魚放流	南部地区4箇所
平成30年 8月30日 ～8月31日	宮城県水産技術総合センター 成果発表会	水産技術総合センター
平成30年 9月 1日	漁業就業支援フェア（仙台）	イベントホール松栄
平成30年 9月 5日 ～9月14日（3日間）	種苗生産施設等視察対応 （宮城県水産高校1年生）	施設内
平成30年 9月13日	第40回全国豊かな海づくり大会 宮城県実行委員会第1回総会	仙台サンプラザ
平成30年 9月20日	浜と水試の情報交換会	気仙沼水産試験場
平成30年 9月21日	中部地区栽培漁業推進協議会 通常総会	JFみやぎ石巻総合支所
平成30年10月22日 ～10月26日	第2回漁業就業者確保育成事業 短期研修	塩釜魚市場中会議室
平成30年10月27日 ～10月28日	全国豊かな海づくり大会 高知県大会	高知県高知市
平成30年10月10日 " 11月19日	アワビ種苗第1回剥離（選別・飼育）	協会内
平成30年11月14日	第20回理事会	JFみやぎ七ヶ浜支所
平成30年11月21日 ～11月22日	平成30年度太平洋北海域種苗 生産機関所長・技術者会議	松島町文化観光交流館 ・ホテル壮観
平成30年11月27日 " 12月 6日	アワビ母貝搬入	JFみやぎ唐桑、歌津 十三浜、七ヶ浜各支所
平成30年11月27日 ～11月28日	平成30年度栽培漁業若手職員 研修会	北海道栽培漁業協会伊 達センター
平成30年11月28日	宮城県漁船漁業振興協議会 通常総会・研修会	パレス松洲

平成30年12月 5日	ドローン基礎操縦講習会	協会内
平成30年12月13日	宮城県総務部私学・公益法人課 立入検査	協会内
平成30年12月18日	資源管理型漁業推進支援事業 補助金審査委員会	日本漁船保険組合宮城 県支所内会議室
平成30年12月19日	第40回全国豊かな海づくり大 会宮城県実行委員会 第1回幹事会及び合同専門部会	宮城県本庁分庁舎 会議室
平成30年12月21日	みやぎ漁師カレッジ閉講式	女川町まちなか交流館
平成31年 2月 7日	第21回定時理事会	パレス松洲
平成31年 2月18日	水産青年フォーラム	秋保温泉・岩沼屋
平成31年 2月19日 ～2月20日	栽培漁業推進協議会	東京コープビル会議室
平成31年 2月21日 ～2月22日	全国アワビ種苗生産担当者会議	TKPガーデンシティ仙台
平成31年 3月15日	さけ種苗生産施設実態調査業務 完成検査・完了報告書提出	協会内
平成31年 3月11日 ～3月22日	資源管理型漁業推進支援事業 実績報告確認（補助金支出）	JFみやぎ他各団体
平成31年 3月26日	第40回全国豊かな海づくり大会 宮城県実行委員会第2回総会	パレス宮城野

* 県内水産関係団体総会等への出席は一部記載を省略している。

2 組織（平成31年3月31日現在）

（1）評議員

	常 勤	非常勤	計
評議員の数	—	8人	8人

（2）理事及び監事

	常 勤	非常勤	計
理事の数	1人	8人	9人
監事の数	—	2人	2人

（3）職 員

職員の数	18人	うち常勤	11人

* 常勤職員は前年より1名増となっている。

3 賛助会員

平成31年3月31日 現在

区 分	所在市町	会費納入口数	入会年月日
遊漁船団体			
荒浜釣船組合	亶理町	15	17. 4. 11
籬島東部遊漁船連絡協議会	塩竈市	0	17. 5. 13
籬遊漁船組合	塩竈市	2	17. 5. 13
閑上港遊漁船協力会	名取市	0	17. 5. 13
小計 4		17	
遊漁船単体			
有限会社 きくしん	亶理町	6	17. 4. 11
有限会社 釣船丸洋丸	塩竈市	0	17. 5. 13
つり船 三浦屋 (個人会員)	南三陸町	0	17. 9. 22
遊漁船 大洋丸 (個人会員)	石巻市	0	17. 9. 22
小計 4		6	
遊漁者団体			
くろしおフィッシングクラブ	塩竈市	2	9. 6. 23
公益財団法人日本釣振興会宮城県支部	仙台市	0	17. 9. 14
小計 2		2	
釣具店関係			
株式会社 竹乃皮屋	仙台市	1	17. 9. 14
津田釣具店 (個人会員)	石巻市	0	20. 12. 10
小計 2		1	
遊漁関連団体			
志津川湾水産資源増殖管理推進協議会	南三陸町	0	17. 9. 22
宮城県定置漁業協会	石巻市	1	17. 9. 14
大友 久義 (個人会員、定置漁業者)	東松島市	8	17. 6. 2
有限会社 丸真運輸 (個人会員)	仙台市	2	19. 1. 25
小計 4		11	
合計 16 (うち個人会員5)		団体会員27口 個人会員10口	

※ 震災後、活動を休止している団体もあるが、当協会の事業の取り組みや、内容等についてはすべての団体にお知らせしている。

※ 会費は団体会員が1口1万円、個人会員が1口5千円に設定している。

【 寄附金 】

当協会へ次の方々から寄附の申込みがあった。

- ・ 釣り船 晋漁丸 10万円 (平成30年12月25日)
- ・ 釣り船 漁安丸 10万円 (平成31年2月1日)
- ・ 塩竈カジキ釣り大会実行委員会 (くろしおF.C) 10万円 (平成30年11月6日)

4 評議員会等の開催状況

(1) 評議員会

開催年月日	主な決議事項等
平成30年 6月15日	<p>決議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成29年度事業報告及び収支決算の承認について 2 評議員及び役員（理事）の選任について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度事業計画及び収支予算について 2 平成30年度事業計画の変更及び収支予算の補正について 3 平成30年度事業の進捗状況について

(2) 理事会

開催年月日	主な決議事項等
平成30年 5月30日	<p>決議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 評議員会の招集について 2 平成29年度事業報告及び収支決算の承認について 3 平成30年度事業計画の変更（案）及び収支予算の補正（案）について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 評議員及び役員（理事）の候補者について 2 平成30年度事業の進捗状況について
平成30年11月14日	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度事業の執行状況について（平成30年10月末現在） <ol style="list-style-type: none"> 1) 新任の評議員並びに理事について 2) 栽培漁業関係事業の進捗状況について 3) 資源管理型漁業・栽培漁業の普及啓発について 4) みやぎの漁業担い手確保育成支援事業について
平成31年 2月 7日	<p>決議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成31年度事業計画（案）及び収支予算（案）について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度事業の執行状況について（平成31年1月末現在） <ol style="list-style-type: none"> 1) 栽培漁業関係事業について 2) 資源管理型漁業推進支援事業について 3) みやぎの漁業担い手確保育成支援事業について

Ⅱ 事業の状況

〈 要 旨 〉

平成27年10月に七ヶ浜町松ヶ浜に完成した宮城県水産技術総合センター養殖生産部の施設に当協会事務所を移転して3年目となる平成30年度は、アワビ種苗生産事業やヒラメ稚魚の中間育成放流事業に加え、ホシガレイの中間育成技術の習得に取り組むとともに、みやぎの漁業担い手育成支援事業等を本格的に展開した。

アワビについては、本県産アワビを親貝として得た幼生を飼育し、平均殻長27mmの種苗約112万個を生産し、昨年度に続き本県産種苗を計画どおり県内の漁協へ供給することができた。

ヒラメの中間育成・放流については、岩手・秋田の栽培漁業協会から購入した30mm種苗30万尾の飼育に7月上旬から取り組み、平均体長80mmの種苗21万3千尾を8月下旬までに、県内11箇所配布・放流することができた。なお、仙台湾へ放流した9万尾のうち2千尾については、背鰭上端をブイ字にカットした標識を付けて放流するとともに、標識ヒラメの再補報告をお願いするポスターを作成して、県内魚市場や遊漁船業者・釣具店等へ配布して放流事業の啓発に努めた。

また、新たに取り組んだホシガレイの中間育成については、平成30年5月下旬に東北区水産研究所宮古庁舎から全長50mmの稚魚7万尾を搬入し、中間育成後の7月5日から13日に、平均全長約75mmの稚魚4万8千尾を県内7箇所の地先海面に放流した。

さらに、藻場調査技術研修会への参加や、県内各団体が取り組む資源管理型漁業の推進及び漁場環境保全活動を支援する助成制度の創設を行うなど、資源管理型漁業の普及啓発に努めた。なお、前年度に実施したヒラメに関するラジオCMが第48回仙台公告賞ラジオ部門銀賞を受賞した。

また、平成30年度は当協会が担当開催する広域の会議が重なり、11月下旬に約30名が参加した平成30年度太平洋北海域種苗生産機関所長・技術者会議を松島町で開催した。さらに、平成31年2月下旬には、第46回全国アワビ種苗生産担当者会議を、仙台駅前のAER（アエル）で開催し、約70名の参加を得て関係する項目の課題や解決方策案について協議を行った。

みやぎの漁業担い手確保育成支援事業については、協会内に設置した「宮城漁業就業者確保育成センター」を運営し、コーディネーターを配置して漁業就業に関する相談・照会等に対応した。さらに、本県では2期目となる「みやぎ漁師カレッジ」長期研修に際し、研修カリキュラムの作成、講師依頼や受講生募集等を宮城県及び関係機関と連携して取り組むとともに、希望漁業種類への就業支援や漁業就業予定の長期研修受講生への支援金受給手続きのサポートを実施した。長期研修生4名については、7ヶ月間の様々な研修を修了し、それぞれ希望する漁業種類に就業することができた。また、漁家子弟の研修生4名も、漁業従事に必要とされる小型船舶操縦免許やフォークリフト等の資格が取得できた。

なお、フォークリフトと小型移動式クレーン運転技能講習資格取得に要する経費について、当協会を通じて受講生に1/2の補助金を交付した。

また、さけ種苗生産施設に関する実態調査業務を県から受託することにより、本県の重要な秋さけ資源の安定を図った。

これらの各種事業に取り組むことにより、東日本大震災からの本県水産業の復興と発展が図られるよう努めた。

〈 事業活動の実績 〉

○公益目的事業

資源管理型漁業の推進に関する事業

1 アワビ種苗の生産

東日本大震災により県内のアワビ資源は大きなダメージを受けていることから、これまで以上に継続的な種苗放流が不可欠となっている。

平成30年度は、県からのアワビ種苗生産業務委託に基づき、種苗の生産・出荷に下記のとおり取り組んだ。

①平成30年度放流種苗(宮城県産)の生産

平成29年3月～4月に県内産アワビ母貝から採苗した約530万個の種苗を飼育し、平成30年5月～10月に県を通じて県内の漁協各支所等に平均殻長27.0mm種苗111万8千個を計画どおり出荷した。

【平成30年度アワビ放流種苗の生産実績】

配布時期	平均殻長 (mm)	配布個数 (千個)	備 考
平成30年 5月25日 ～ 7月23日	27.0	1,021	
平成30年10月26日		97	
合 計		1,118	

②平成31年度放流用種苗の生産

平成30年3月～6月に県内産アワビ母貝から採卵・採苗を行った約800万個の種苗を飼育し、平成31年3月末現在で平均殻長20mm種苗約121万2千個を確保することができた。

③平成32年度放流用種苗(宮城県産)の生産

平成32年度放流用種苗の生産に向け、平成30年11月～12月に県内各地から親アワビを購入し、選別後、平成31年4月からの採卵に向け飼育中。

【親アワビの飼育状況】

入手時期	入手先	飼育個数
平成30年11月27日	唐 桑	60個
平成30年11月29日	十三浜	60個
平成30年12月 6日	歌 津	60個
平成30年12月 6日	七ヶ浜	60個
合 計	4箇所	240個

2 ヒラメ種苗放流事業

平成30年度も、ヒラメ資源の維持・増大を図るため、当協会の自主事業として中間育成放流に取り組むとともに、ヒラメの放流効果等把握のため、背鰭上端をブイ字にカットした標識を付けて仙台湾へ2千尾を放流した。あわせて標識ヒラメの再補報告をお願いするポスターを作成して、各魚市場や釣具店等に配布した。また、県内主要8港のヒラメ水揚げ状況の把握に努めた。

①ヒラメ種苗の中間育成放流の状況

資源管理型漁業、栽培漁業の推進のためには広域的な連携のもと継続的な種苗放流が必要であり、他県より種苗を購入し、中間育成後に、宮城県及び関係機関と連携して県内各地区に放流した。

【平成30年度ヒラメ種苗中間育成の概要】

種苗搬入	搬入サイズ・数量	放流時期	放流サイズ・数量	種苗購入先
平成30年 7月4日 ～ 7月18日	平均全長 30～35mm 合計30万尾	平成30年 8月1日 ～ 8月24日	平均全長 約80mm 合計20万尾	秋田県栽培 漁業協会 岩手県栽培 漁業協会

【平成30年度ヒラメ放流実績】

地区	放流月日	放流場所 (地先)	放流 尾数	平均体長	放流方法	備考
北部	8月1日	波路上漁港	10千尾	約80mm	岸壁放流	
〃	〃	日門漁港	15千尾	約80mm	岸壁放流	
〃	〃	港漁港	10千尾	約80mm	岸壁放流	
〃	〃	志津川漁港 (袖浜)	10千尾	約80mm	岸壁放流	
小計			45千尾			
中部	8月22日	鮎川漁港 (網地島)	32千尾	約80mm	船上放流	
〃	〃	十八成浜漁港	16千尾	約80mm	岸壁放流	
〃	〃	福貴浦漁港	17千尾	約80mm	岸壁放流	
小計			65千尾			
南部	8月21日	菖蒲田漁港	30千尾	約80mm	船上放流	
〃	〃	花渚漁港	30千尾	約80mm	船上放流	2千尾標識
〃	8月24日	荒浜漁港 (亘理)	20千尾	約80mm	岸壁放流	
〃	〃	磯浜漁港	10千尾	約80mm	岸壁放流	
小計			90千尾			
合計			20万尾			

②水揚げ状況調査

県内主要8港のヒラメ水揚げ状況を魚市場・関係漁協各支所等の報告に基づき月別にとりまとめた(別添資料1)。

平成31年3月末現在の水揚げ量は805tで前年の1,265tより減少しているが、引き続き震災以前の水揚げ量(200~300t)を大きく上廻っている。水揚げ量や水揚げ金額の減少に反して、ヒラメ単価の上昇により、数量の減少ほどの影響はなかった。

今後とも資源の減少にともない、資源の管理と種苗の放流を推進していく必要がある。

3 ホシガレイ種苗放流事業

ホシガレイ資源の維持・増大を図るため、関係各機関と連携し、平成30年度より新たに中間育成放流に取り組んだ。

平成30年5月24日に、東北区水研研究所宮古庁舎で生産された全長50mmの種苗7万尾を、七ヶ浜町松ヶ浜の宮城県水産技術総合センター種苗生産施設に搬入し、巡流水槽にて同年7月5日まで飼育した。

平均全長約75mmの稚魚4万8千尾を、県内7箇所の地先海面に放流することができた。なお、中間育成の費用については、宮城県資源管理型漁業実践協議会の補助金を充当した。

【平成30年度ホシガレイ種苗中間育成の概要】

種苗搬入	搬入サイズ・数量	放流時期	放流サイズ・数量	種苗搬入先
平成30年 5月24日	平均全長 50mm 合計7万尾	平成30年 7月5日 ～ 7月13日	平均全長 72.2mm ～76.2mm 合計4万8千尾	東北区水産 研究所 (宮古庁舎)

【平成30年度ホシガレイ放流実績】

地区	放流月日	放流場所 (地先)	放流尾数	平均体長	放流方法	備考
北部	7月13日	波路上漁港	5千尾	76.2mm	岸壁放流	
〃	〃	日門漁港	5千尾	76.2mm	岸壁放流	
〃	〃	泊浜漁港 (歌津)	5千尾	76.2mm	岸壁放流	
小計			15千尾			
中部	7月12日	小浜(雄勝)	5千尾	76.2mm	岸壁放流	
〃	〃	長面浦	5千尾	76.2mm	岸壁放流	
〃	〃	十八成浜漁港	5千尾	76.2mm	岸壁放流	
小計			15千尾			
南部	7月5日	花淵浜	18千尾	72.2mm	船上放流	
小計			18千尾			
合計			48千尾			

4 資源管理型漁業、栽培漁業の普及・啓発

資源管理型漁業、栽培漁業の推進を図るため次の事業を実施した。

(1) 資源管理型漁業推進支援事業

平成28年度に積み立てた「資源管理型漁業特定費用準備資金」を活用し、ヒラメやアワビなどの栽培漁業の振興や、県内沿岸における水産資源の永続的な利活用に向けて、関係者一体となった資源管理型漁業の推進を図るため、以下の事業を実施した。

事業の実施に際しては、理事会はもとより宮城県関係各課及び公所への説明と、市町・NPO団体や遊漁団体等への周知を行った。

1) 各団体への助成事業

		団 体 名	主な活動内容	補助額
第 1 回 目 補 助 額 決 定	1	JFみやぎ・浦戸支所 合同会社 がんばる浦戸の母ちゃん会	地元産弁当、 カキ・ノリ加工品販売	200,000
	2	JFみやぎ・浦戸支所 浦戸アサリ試験研究会	アサリの天然採苗調査 及び稚貝の技術開発	39,000
	3	JFみやぎ・仙南4支所 仙南4地 区小型底引き網漁業連絡協議会	アカガイ・ウバガイ等の 資源調査	100,000
	4	JFみやぎ・谷川支所 青年部	磯焼け防止と磯根資源回 復	189,000
	5	JFみやぎ・志津川支所 青年部	小学生を対象に資源管理 啓発及び魚食の普及活動	29,000
	6	JFみやぎ・気仙沼地区支所 青年部千尋会	藻場と磯根資源の回復活 動	181,000
	7	松島湾アマモ場再生会議	アマモ生息実態調査	200,000
	8	宮城県釣船業協同組合	ヒラメ釣大会にて魚食 PR	102,000
		小 計		1,040,000
第 2 回 目 補 助 額 決 定	9	JFみやぎ・仙南支所（亘理） 水産加工研究会	地元産魚介類（マガレイ・ カナガシラ）の魚食普及	200,000
	10	JFみやぎ・表浜支所	ホシガレイ種苗中間育成	10,000
	11	JFみやぎ・石巻市東部支所 石巻市東部支所漁業研究会	ナマコの幼生飼育・育成・ 放流	10,000
	12	JFみやぎ・谷川支所	ナマコの幼生飼育・育成・ 放流	35,000
			小 計	
		合 計		1,295,000

2) 水産振興協会実施事業

- ・藻場のモニタリング調査研修を受講した。
- ・ドローンの購入整備と基礎操縦講習会を実施した。
- ・協会職員が潜水技術を取得する講習を開始した。

(2) 機関誌等の発行

当協会の機関誌である「豊かな海」第4号（別添資料2）を平成30年9月に発行し、関係機関に配布するとともに、ホームページにて取組内容や資料を随時更新し、協会の現状や事業について分かりやすい情報の発信に努めた。

(3) 遊漁者への働きかけ

当協会の賛助会員である遊漁船業者及び遊漁者（プレジャーボート）の各団体に対して、協会の現状と事業内容を周知し、継続加入を働きかけた。また、ヒラメ稚魚放流に関するポスターを配布し、調査への協力を依頼するとともに、釣り番組である『釣りビジョン』を通じて資源管理への協力を呼び掛けた。

(4) 施設見学への対応

各種事業の本格稼働とともに松ヶ浜種苗生産施設の見学者が前年度に比べ大幅に増加し、今年度は490名に達した。他都道府県等の種苗生産関係者の視察に加え、七ヶ浜町や多賀城市在住の方々の見学も増えてきており、協会の役割や業務内容についてパンフレット等を用いて丁寧な対応を心掛けた。

また、玄関ホールには引き続きアワビ、ヒラメ等の栽培漁業並びにみやぎ漁師カレッジ及びさけ増殖事業に関するそれぞれのパネルを設置し、見学者の理解が深まるよう努めている。

5 さけ種苗生産施設実態調査事業

宮城県からの調査業務を受託し、県内の13ふ化場の施設の現況等についての調査を実施し、施設の概要及び写真撮影の上、記録をとりまとめた。

6 みやぎの漁業担い手確保育成支援事業

新規漁業就業者確保のため、県や関係機関と連携して下記内容を実施した。

(1) コーディネーターの配置及び相談窓口の設置

平成30年度も引き続き当協会内に漁業担い手育成コーディネーター1名を配置し、漁業就業希望者の相談にワンストップで対応できるよう相談窓口を設置・運営した。

問い合わせ内訳	求職件数	求人件数
平成30年度第1回短期研修	8件	8件
平成30年度第2回短期研修	4件	
漁業就業支援フェア（東京）	11件	養殖業6件 漁船漁業2件
漁業就業支援フェア（仙台）	7件	
令和元年度長期研修	7件	東松島市3件 塩釜市1件 南三陸町1件 七ヶ浜町3件
令和元年度短期研修	1件	
漁業就業相談	2件	
合計	40件	

(2) ウェブサイトの作成、運営

漁業相談窓口、長期研修・短期研修の告知・受講生の募集等をサイト訪問者(新規漁業就業希望者等)にアピールするウェブサイトの作成・運営に努めた。

(3) 「みやぎ漁師カレッジ」の運営

長期研修及び短期研修の開催・実施にあたり、研修開催場所の調整、研修カリキュラム内容の作成、研修日程の調整及び長期研修と短期研修の実施にともなう受講生の募集等を行った。

①長期研修の開催

2期目の「みやぎ漁師カレッジ」長期研修に一般受講生4名、漁家子弟4名の計8名が受講した。受講生は平成30年6月1日から12月21日までの7ヶ月間、宮城県の各種漁業に関する講義と実習、船舶やフォークリフト免許等の取得に加え、希望する漁業種について2ヶ月間の専門研修に取り組んだ。

当協会は、カリキュラムの作成や受講生の募集を行うとともに、研修受入先の調整や外部講師の依頼など県関係機関等と連携して研修を運営した。

また、受講生に給付される国の支援制度(次世代人材投資型事業等)の紹介と受給手続き等の支援、資格取得補助金等の給付に関する支援を行った。

【平成30年度 「漁師カレッジ」開催実績】

【 長期研修 】

開催期間	開催場所	受講生数	研修内容
平成30年 6月1日 ～ 12月21日 (7ヶ月間)	女川町 まちなか交流館 他現地研修	一般 4名 漁家子弟 4名 合計 8名	・宮城県の水産業等座学 ・各種漁業の現場研修 ・ロープワーク技術習得 ・小型船舶免許等取得 ・希望漁業専門研修 (2ヶ月) 等々

②短期研修の開催

第1回短期研修は平成30年8月6日(月)から10日(金)までの5日間、宮城県水産技術総合センターにて、第2回短期研修は平成30年10月22日(月)から26日(金)までの5日間、塩竈市魚市場中央棟会議室にて開催した。

当協会は、カリキュラムの作成、受講生の募集、研修講師や使用する漁船の手配等について、県や関係機関等の方々と連携して運営に取り組んだ。

なお、短期研修の受講生は、第1回が10名、第2回が3名で、合計13名が参加した。

【 第 1 回短期研修 】

開催期間	開催場所	受講生数	研修内容
平成30年 8月6日 ～ 8月10日 (5日間)	石巻市渡波 宮城県水産技術 総合センター	一般 10名 漁家子弟 0名 合計 10名 (県外者8名)	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県の水産業等座学 ・短期研修後就業した漁業者からの体験談 ・ホタテガイのピン抜き作業、マボヤ採苗原盤作り等 ・ノリ種の糸状体観察等 ・種苗生産施設見学 ・ロープワーク等技術習得

※ 台風通過により現場研修がほとんど出来ず、県調査船の見学等に振り替えた。

【 第 2 回短期研修 】

開催期間	開催場所	受講生数	研修内容
平成30年 10月22日 ～ 10月26日 (5日間)	塩竈市魚市場 中央棟会議室	一般 3名 漁家子弟 0名 合計 3名 (県外者2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県の水産業等座学 ・カキ養殖体験 ・定置網漁業体験 ・刺し網漁船網外し体験 ・さけふ化場視察 ・ロープワーク等技術習得

(4) 漁業就業者フェア等へのブース出展

全国漁業就業者確保育成センターが7月7日東京会場（アキバ・スクエア）にて主催した「漁業就業支援フェア2018」及び宮城県が9月1日に仙台市にて主催した「2018年漁業就業者支援フェア in 仙台」において、それぞれ当協会もブース出展し、漁業就業希望者の相談に応じるとともに、移住・定住に関する情報の収集及び発信を行った。

○収益事業

水産関連団体事務受託事業

宮城県さけます増殖協会及び宮城県漁船漁業振興協議会から事務を受託し、受託業務を誠実かつ適正に執行し、本県水産業の振興に努めた。

特に、東日本大震災の影響で危惧された秋さけ親魚と種苗の確保に向け、事務局として県と連携し精力的に調整に努めた。